

JEAS News

vol. **33**
2020 夏号

令和2度通常総会・記念講演会特集 防犯理論 その源流から現在、近未来に向けての大基軸(LP)へ

なるほど!万引防止・
ロス対策情報は
JEAS Facebook



京都コンGRESS(第14回国連犯罪防止刑事司法会議)の大成功に向けて、当工業会は万引犯罪の予防措置・再犯防止などの展示物で協力いたします

JEAS News

第33号

目 次

EAS、カメラ分野を担当する工業会として	2
ごあいさつ 工業会 日本万引防止システム協会 会長 稲本義範	3
総会を終えての役員所感	4
2020年度（令和2年度）通常総会概要・スケジュール	5
2019年（令和元年）万引防止システム市場規模調査報告	6
2020年度（令和2年度）記念講演会の要旨・感想	7
JEAS セミナーについて	8
小売業向け推奨顔認証システム制度説明会	9
15分勉強会について	9
新型コロナウイルスからお客様と従業員を守るためにすべきこと	9
宵カフェ開店（マスター JEAS 事務局）	11
海外から来られた新たな仲間（vol. 1）紹介	11
ロス対策テキスト、ロス対策士資格試験制度のご紹介	12
サーモグラフィーシステム普及推進プロジェクト始動	13
事務所移転のご連絡	13
工業会 日本万引防止システム協会のご案内	14
工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧・組織図	表 3
工業会 日本万引防止システム協会 会員名簿 ご相談窓口について	表 4

EAS、カメラ分野を担当する工業会として

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明
[分野：電子商品監視機器、防犯カメラ（赤外線サーモカメラ含む）]に関するお知らせ

- (1) 2017年度税制改正により、中小・小規模事業者の「攻めの投資」を後押しするため、従来の産業競争力強化法に基づく「中小企業投資促進税制の上乗せ措置」を改組し、中小企業等経営強化法に基づく「中小企業経営強化税制」が創設されました。
- (2) また、中小企業等経営強化法に基づく「固定資産税の特例措置（地方税）」においても、対象設備細目が2017年4月1日から拡充されました。
- (3) 当協会としては、ユーザー様及び会員の要望に応えるため、さらには「攻めの防犯」と「防犯民主主義」(<http://www.jeas.gr.jp/pdf/20180307.pdf>)を推進するために、2018年1月25日の理事会承認を経て2018年2月1日より本証明書の発行受付をスタートしました。
- (4) さらに、2017年度税制改革により中小企業等経営強化法と2018年度生産性向上特別措置法（市町村の判断により、新規取得設備の固定資産税が最大3年間ゼロになる）の先端設備等に係る生産性向上要件の証明証が一本化されました。当協会の会員および会員外の設備メーカーも申請できますので、ご活用ください。2018年11月5日に申請フォームが変更になっております。
- (5) なお、中小企業経営強化税制につきましては、2019年3月31日までが適用期限とされていたところですが、2019年度の税制改正により適用期限が2年延長（2021年3月31日まで）されることとなりました。詳しくは工業会ページをご参照ください。<http://www.jeas.gr.jp/intro08.html>

JEAS Facebook も絶賛公開中！

<https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/>



総会時のごあいさつ

…初の多チャンネル・双方向オムニ会議開催に思う…

工業会 日本万引防止システム協会 会長 稲本 義範



皆様こんにちは 稲本です。(聞こえますか。有難うございます。)

本日は、工業会 日本万引防止システム協会 令和2年度通常総会・記念講演会にご参集いただきましてありがとうございます。今回はコロナ対策のためにTV会議システム・Microsoft Teamsでプレゼン内容と登壇者の発表をお伝えします。さらに、動画配信サイトYouTube限定ライブ配信で、会場前方の様子を臨場感豊かにお伝えします。

本日は会員だけでなく、日頃よりお世話になっている関係の皆様が多数参加されております。それぞれのチャンネルからチャットでコメントされると思います。科学技術の進歩のお蔭で、専門の知識がなくても、本気!になれば、皆のことを強く思えば、このような多チャンネル・双方向のオムニ会議が開催できるようになりました。それにより、今、この時、北は北海道、南はタイや台湾から、東は米国、西は中国から、ロスプリベンションに関わる方々がこの総会に参加されています。

新型コロナが招いた天災、更には情報公開の遅れなどの人災が引き起こしたさまざまな悲劇を思うとこの胸は張り裂けそうです。だが、今は思うまい、感情に流される時ではない。この苦難が人類への試しであるならば、我々、防犯機器と映像システムの工業会は、その行動をもって良き道を示すのみ。その実践が本日のオムニ方式の総会であり、本日のテーマである「防犯理論 その源流から現在、近未来に向けての大基軸ロスプリベンションへ」です。

昨年度は、アジア最大の見本市 China Shop 青島2019の視察と中国防損協会との会合、EASの安全対策推進の徹底と推奨顔認証システム制度の発表、RFID セミナー・IoT 機器のセキュリティセミナー・PIA セミナーなどを遅滞なく開催しました。更には、会員の力を結集して苦労しながら、新冊子「人的警備と画像システムの効果的活用」「買い替え促進パンフレット」を世に出しました。4月17日には、米国情報と衛生学の専門家の知見を得て「新型コロナウイルスからお客さんと従業員を守るためにすべきこと10項目」を発出し、多くの皆様に活用いただきました。更にいま、今後の感染予防に向けて、サーモグラフィ・システム普及推進プロジェクトを発足させ、サーモグラフィ・システムの常設設置に向けての冊子を準備しています。

このように、できることからやるのではなく、今やらなければいけないことをやる! という姿勢で臨んだ覚悟のお蔭で、逆風・逆境の市場環境のなかであって、EAS市場規模は実質的に昨年10年ぶりに1万5千台を超える出荷数となり、出荷額が前年比8.9%増加(2018年5.3%増、2019年8.9%増)となりました。そして昨年度新たに6社がJEASメンバーに加わりました。(退会法人はゼロ)これもひとえに、会員の皆様をはじめユーザー様、関係省庁、関連団体の皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。

当工業会の使命は、万引犯罪撲滅を目指す唯一のソリューション団体として、「万引犯罪をさせない店舗作り」の推進を通じて、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止・大量窃盗団の阻止・高齢万引の未然防止・内部不正対策・ロス対策という産業的・社会的役割を果たすことです。引き続き、皆様のご支援をいただきながら、この使命を次の時代へと紡いで参ります。結びに、皆様のますますの長寿とご繁栄を祈念し、挨拶に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



理事 副会長 カメラ画像安全利用推進委員長 三宅正光

この度の総会の開催にご尽力いただいた皆様、本当にご苦勞様でした。リモートで参加した立場から感想を述べさせていただきます。

今まで経験をしていない環境での開催は、疑問符もありましたが無事終了いたしました。

リモートでの参加も海外を含めて成功裏に終わりましたが、問題点として登壇者のマイクの使い方により音声不明瞭になりました、それと進行途中で外部の通信が入り一時総会の通信が途絶えました。

初めての試みなので多少の問題がありましたが、全体運営では合格点がつけられると思います。次回の開催時には新型コロナは終息しているはずなので、この度の総会は協会の歴史の1ページを刻むものとなるでしょう。

理事 副会長 総務委員長 近江 元

おかげ様で、工業会日本万引防止システム協会も2002年に設立以来、長年にわたり、買物客や、そこで働く多くの従業員の方々にとって安心・安全で快適な買物環境、職場環境を実現し、維持することに微力ながらも努力してまいりました。

新型コロナウイルス禍のさなか、今回の総会では初めての試みであるリモートでのご出席をいただく方も大勢いらっしゃいました。特に、米国、タイ、中国など海外からもご参加いただくことができたのは、「災い転じて福となす」とも言えそうです。

自身の反省として、慣れないWEB会議システムを使った総会運営進行でお見苦しい、お聞き苦しい点もあったことを運営に携わったものとしてお詫び申し上げます。

一方で新しい時代が来ているのだなと実感した次第です。これを契機に皆様と新たな未来への一歩を踏み出そうと、わくわくしている自分がここにいることに少しだけ驚いております。

理事 事務局長 技術基準委員会 田丸典億

コロナ禍だからこそ、感染防止対策をしっかりと練って、この機会より新しい会議（Web 会議システム）にチャレンジしました。事前に、会場での通信環境テストなど、当日に慌てないための努力をしてきました。

しかしながら、開始2時間前になって、モバイルルーター紛失（1時間後発見）、TV会議の管理者アカウントエラーが発生し（翌日になって解決）、TV会議に参加する方々の承諾が出来ない状況になりました。会長はそれらのトラブルを想定（過去に経験済み？）していたみたいで、その復旧に集中され、開始50分前には、TV会議参加者に再招待状とYouTubeアドレスを配信されました。そして、なんとか時間通りに開始することができました。

開場直前、会長は皆に「新しいことをやるんだから、失敗は当たり前、失敗を学ばないと先には行けない。」と本気で話されていました。

理事 政策・研究委員会委員 摺田祐司 新任あいさつ

この度、6月4日付で政策・研究委員会委員長に着任致しました摺田と申します。JEAS協会には2012年度より参加させて頂いております。

現在は政策・研究委員会、カメラ画像安全利用推進委員会に所属しております。政策・研究委員会では以前より委員として活動しておりましたが、今後は委員長として活動する事となります。慣れるまでは各委員、関係者の皆様には何かとご心配をお掛けすると思いますが、何卒、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。どうぞ、よろしくお願い致します。

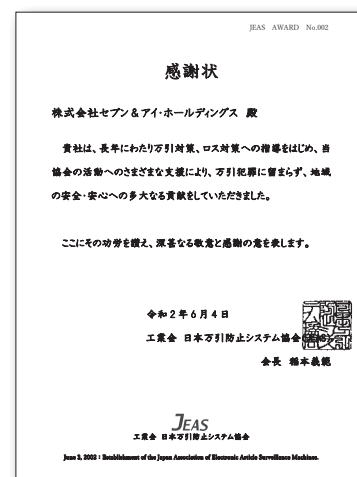


2020年度（令和2年度）通常総会概要

テーマ：防犯理論 その源流から現在、近未来に向けての大基軸（LP）へ

- 日時：2020年6月4日（木）14：00（受付開始13：30）～17：00
- 会場：主婦会館プラザエフ 第1・2部 7Fカトレア 東京都千代田区六番町15番地
参加：120名 内訳会場参加54名、Microsoft Teams37名 YouTube 限定ライブ29名
なお、YouTube はその後を含めて370回のアクセスを確認しております。YouTube で総会・記念講演会を視聴されたい方は JEAS 事務局にご一報ください。

	時間	内容
第1部総会	13：45	Microsoft Teams 受付と動画配信サイト YouTube 限定ライブ配信開始
		○通常総会
	14：00	開会 全体スケジュール説明（7Fカトレア） 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議長選出 4. 議案 第1号議案：令和元年度事業報告、収支決算の件 第2号議案：令和2年度組織・人事の件 第3号議案：令和2年度事業計画、収支予算の件 新役員挨拶：松崎泰二理事、森雅裕監事、摺田祐司政策・研究委員長 5. 閉会
		○活動報告
	14：25	6. 2019年市場規模に関する調査及び中国展示会報告
	14：35	7. 推奨顔認証システム機器の認定試験（途中報告）
	14：37	8. 感謝状贈呈 株式会社セブン&アイ HLDGS. 及び 退任役員
	14：45	(株)セブン&アイ HLDGS. 総務部渉外オフィサー 伊藤建史様 監事退任・伊藤和賢様（Matsuo Sangyo (株)） 監事退任・技術基準委員会 辻誠様 （IDEC ファクトリーソリューションズ(株)）
	15：00	9. 万引き防止のためのモデル店舗認定制度の紹介 警視庁生活安全総務課 生活安全対策第三係長 大多和修治様
	15：00	休憩
第2部記念講演会	15：10	1. “防犯を学び、実践する中で、感じたこと。託したい思い” 日本更生保護学会会長・中央大学名誉教授 藤本哲也様
	16：00	2. “激変する市場に組織変革（安全対策・ロス対策を含む）で挑めば未来が見えてくる” (株)パン・パシフィック・インターナショナル HLDGS. リスクマネジメント本部危機管理部部長 後藤信明様
	16：40	来賓ご挨拶 法務省大臣官房国際課（京都コンgres担当部門）課長 柴田紀子様 個人情報保護委員会事務局 参事官 片岡秀実様 特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構 理事長 竹花 豊様
	16：49	皆様への謝辞と今後の業界発展を願い“本気”を唱和 稲本会長
	17：00	閉会



※感染予防のため、170名収容の会場を定員1/3絞り、入場口前にサーモカメラ(店舗プランニング社協力)を設置し、参加全員にフェイスシールド(エム・ケー・パピック社提供)を配布しました。参加者からも好評で、新聞報道でも高く評価されました。

2019年 万引防止システム市場規模調査報告 —調査報告書説明資料—

総会では、政策・研究委員 佐久間博之氏より説明がありました。詳細は会員ページのb_22にあります。

JEAS 日本万引防止システム協会

2019年 万引防止システム市場規模調査

— 調査報告書説明資料 —

2020年6月4日

はじめに

本調査は、万引防止システムの市場規模を把握し、今後の万引防止システムの普及促進のための基礎資料とすることを目的としています。
今回の調査では、日本万引防止システム協会の会員企業（29社）及び万引防止システムを製造・販売している非会員企業（18社）あわせて47社に
対してアンケート調査を実施しました。
そのうち、27社（正会員：26社 非会員：1社 回収率：57.4%）からの
回答を得て、報告書を作成しております。
本調査は、2017年にも同調査を実施しており、データを比較しております。

尚、市場規模調査の報告書は会員企業様に限定して送付させて頂いております。
本日は、報告書の要点のみを抽出し、ご説明させていただきます。

JEAS 日本万引防止システム協会

- 1 -

【EAS機器等の設置台数】

※報告書 5P

2019年のEAS機器等の設置台数は、15,019台でした。
※天井式、マット式、ゲート式ともにゲート（アンテナ）1個につき1台とカウントしています。
2本立=2台 3本立=3台
2015年に一時的に大幅な伸びがありましたが、それを除くと1万5千台を越えたのは10年以上ぶりとなります。
2013年以前の過去のデータを見ると、2008年まで市場は右肩上がりに拡大し2006年～2008年までは1万8千台前後を維持していましたが、2009年から大きく減少し、ここまでは1万2千台～1万4千台の間で推移してきました。
※2015年を除く



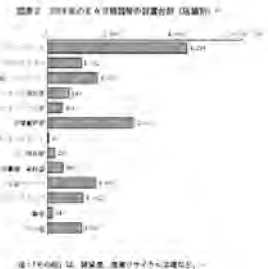
JEAS 日本万引防止システム協会

- 2 -

【業種別設置台数】

※報告書 7P

業種別に設置状況を見ると、「ドラッグストア」が最も多く、以下「家電量販店」、「衣料品」、「飲食スーパー」、「ディスカウントストア」と続きます。
「ドラッグストア」は2016年に減少したものの、2017年以降は増加が続いている。「家電量販店」は、2017年まで増加したが、2018年に減少となり、2019年は再び増加となった。
「衣料品」、「ブランドショップ」、「飲食スーパー」は、2016年、2017年と減少したが、2018年、2019年と増減が続いた。
「ディスカウントストア」は2018年、2019年と増加した。逆に「ホームセンター」、「書籍、文具店」は2018年、2019年と減少が続いた。
「スポーツ用品店」は2018年まで減少が続いていたものの、2019年は増加となった。



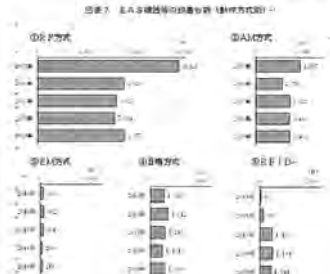
JEAS 日本万引防止システム協会

- 3 -

【動作方式別設置台数】

※報告書 13P

EASの方式別シェアを見ると、RF方式がこれまでと変わらず最も大きく、次いでAM方式、自衛式、RFID、EM式となっています。
＜2015年からの推移＞
・「RF方式」は、2016年に大きく減少し、2018年まで減少が続いたが、2019年は増加に転じた。
・「AM方式」は、2016年に減少したものの、2017年は増加となり、2018年、2019年はほぼ横ばいであった。
・「自衛式」は2017年、2018年と減少が続いたが、2019年は増加に転じた。
・「RFID」は2017年、2018年、2019年と1,000台超を維持している。



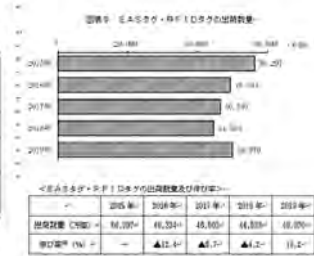
JEAS 日本万引防止システム協会

- 4 -

【タグの出荷数量】

※報告書 15P

2019年のタグ出荷数量は、4億9970万個となりました。
＜2015年からの推移＞
・出荷数量は2018年まで減少が続いたが、2019年は増加となった。
・伸び率でみると、2016年は12.4%の減少、2017年は5.7%の減少、2018年は4.2%の減少であったが、2019年は12.2%の増加となった。



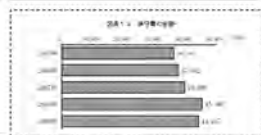
JEAS 日本万引防止システム協会

- 5 -

【EAS機器等の出荷金額】

※報告書 18P-19

2019年のEAS機器等の出荷金額は、78億9220万円となりました。
出荷金額は2016年から2019年まで毎年増加しています。
保守金額は、2018年まで増加傾向にありましたが、2019年は前年対比で減少となりました。



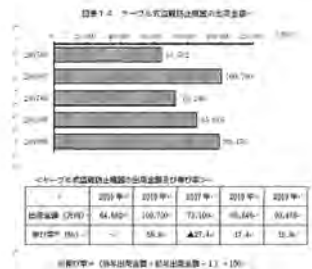
JEAS 日本万引防止システム協会

- 6 -

【ケーブル式盗難防止機器の出荷金額】

※報告書 20P

2019年のケーブル式盗難防止機器の出荷金額は9億9476万円となりました。
出荷金額は、2016年は55.9%の大幅増であり、2017年は27.7%の減少となったが、2018年は17.4%の増加、2019年は15.9%の増加であった。



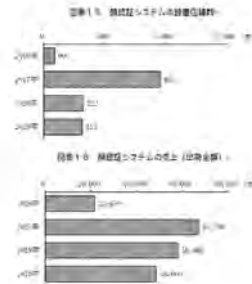
JEAS 日本万引防止システム協会

- 8 -

2019年の顔認証システムの設置店舗数は315店で、売上（出荷金額）は4億8,600万円でした。

<2016年からの推移>

・設置店舗数は2017年で955店であったが、2018年は322店と減少し、2019年は315店で、ほぼ横ばいであった。売上（出荷金額）は2017年が6億7,100万円、2018年は5億8,000万円、2019年は4億8,600万円と減少している。



JEAS 日本万引防止システム協会

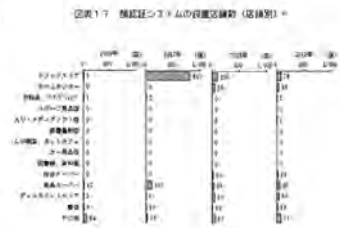
- 9 -

2019年の設置店舗数をみると、最も多いのは「ドラッグストア」の76店で、以下、「その他」（73店）、「食品スーパー」（52店）、ディスカウントストア（39店）、ホームセンター（38店）、総合スーパー（23店）、書店（13店）、「AV・メディアシアター」（2店）などと続いている。

<2016年からの推移>

・「ドラッグストア」は2017年が810店と多かったが、2018年は100店に減少し、2019年は76店となった。「その他」は2018年に57店、2019年に73店と増加が続いた。

・2019年は前年と比べて、「食品スーパー」、「総合スーパー」、「書店」が増加し、逆に「ホームセンター」、「ディスカウントストア」が減少した。



注：11月の値は、貿易統計の集計・発表・改訂後と一致。

JEAS 日本万引防止システム協会

- 9 -

2020年度（令和2年度）記念講演会の要旨・感想

当日の進行役は近江元副会長・総務委員長が担当しました。

配布資料と講演メモは会員ページのC_20にあります。

1. “防犯を学び、実践する中で、感じたこと。託したい思い”

日本更生保護学会会長・中央大学名誉教授 藤本哲也様

犯罪学の歴史から社会学的原因論の展開と藤本先生が名付けた犯罪環境犯罪学までのお話は、私自身を「もっと時間をかけてじっくりと講義を受けたいな」という学生時代に帰った気分になさしてくれました。（遠い昔、私が不勉強な学生であったことはさて置いて）八王子のパトロールや「少年非行と家庭・学校・地域の対応」の例など市民生活における安全安心、また子供たちの安全についてのお話を伺うにつけ、店舗内においても共通することが多くあることに今更ながら気づかされました。あくまでも目的はそこで生活する人々が安心して安全な生活を快適に送ることができるようにすることです。

ですから、店舗においても来店されるお客様はもちろん、そこで働く人たちが安心して快適に自らの職務に取り組むことができる環境を作り上げて、それを継続できることです。当然ですが、それが実現できれば、お客様は繰り返し来店してお買い物をしていただけますし、従業員の定着率も高まり、サービスレベルも向上することは間違いありません。こんな正のスパイラルで、お店も地域もどんどん良くなる、そんなことの実現に私たちは少しでもお手伝いできればと思う次第です。

藤本先生のお話の中で最も心に残ったのは、「ずっと11年間多摩市の安全安心まちづくり推進協議会の委員長をしていますが、大切なのは町づくり、人づくりですが、もうひとつ大切なのがネットワークづくりです。」とおっしゃっていたことです。保護者の方々に犯罪を携帯電話で情報発信するということですが、すでに1万1千人くらいの市民が登録されているということでした。

JEASの活動を振り返るとまさにネットワークづくりの大切さを痛感します。万引を含む店舗防犯機器、設備やサービスを提供する会員各社にとどまらず、顧客である小売業、それぞれの店舗とのネットワークづくりこそ私たちの使命だと実感した次第です。

そして、人づくりができて初めてネットワークづくりも効果的になるのであって、これを置き去りにはできないということも重要であることを再確認できました。我々も教育力を高めて、会員に限らず、小売業において防犯を担う多くの人材の育成に努めることが喫緊の課題であると、多少焦りを感じながらお話を伺っていま



した。

2. “激変する市場に組織変革（安全対策・ロス対策を含む）で挑めば未来が見えてくる”

(株)パン・パシフィック・インターナショナル HLDGS.
リスクマネジメント本部危機管理部部長 後藤信明様

後藤様の「顔認証カメラシステム」のお話は、まさに最前線で万引犯罪と戦っている様子がわかる生々しく具体的なもので、事例もふんだんに紹介いただき、こんなお話は滅多に伺うことができないなと感じました。

やはり基本は抑止、つまり予防処置が大切で効果があるのだなということです。つまり万引犯行の疑いが強い人物を特定してシステムに登録。再来店時に発報して、店内の従業員が声かけを行って万引をさせないというものです。店舗スタッフは、シンプルに再来店した万引被疑者への「声掛け」という対応に集中的に取り組むことで再犯を防ぐだけでなく、万引目的の顧客（とはいえませんが）が着実に来店しなくなるようなしくみだということです。

とてもよいと感じたのは店舗で働く方々が安心して自分の業務に専念できると伺ったことです。勿論万引犯罪とその損失を防ぐことは重要ですが、それが店舗の方々の大きな負担になっては本末転倒です。

被疑者の登録作業からシステム運用など外部に任せるところはアウトソーシングし、店舗の役割とを明確に切り分けているところが素晴らしいと感じました。「業務の生産性向上と、従業員の士気の向上につながっているのではないか」という後藤様のお言葉を聞き、着実に成果を挙げておられることを確信いたしました。

またお話の中で、「このシステムで得た情報を活用していただけるのであれば、無償ですべて提供してもかまわないと思っています。」とまでおっしゃっていただきました。小売業のビジネス上では競争相手だとしても、店舗防犯、万引対策については、小売業各社が協力して犯罪撲滅のために力を合わせるべきでしょう。ここに参加されない方々、特に多くの小売り企業の方々にも知っていただき、お考えいただきたい内容でした。

※本文中に「万引被疑者」という言葉が使われていますが、この場合、法律用語ではなく、過去に万引を敢行しようとした（証拠のある）者を意味します。



JEAS セミナーについて

2月6日

2月6日（木）「プライバシー影響評価（PIA）の概要とセキュリティカメラシステムへの対応」セミナーを高千穂交易（株）1階で開催しました。講師の公立大学法人首都大学東京産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻教授 瀬戸洋一先生のお話を大手カメラメーカー・顔認証メーカー・警備会社・万防機構・内閣府関係者・報道など40名で拝聴しました。

資料は会員ページのc_16にあります。



当初3月3日（火）にセキュリティショー2020で行う予定でした「小売業向け推奨顔認証システム制度説明会」を、同日おもに産業関係の報道機関向けに開催しました。併せて、昨年より大量窃盗団の使用頻度が増えている万引犯行用の特殊バッグへの工業会2012年方針を再説明しました。推奨顔認証システム制度ガイドラインなどの詳細情報は会員ページのc_17にあります。



2月7日（金）は近江副会長より「小売業経営とロスプリベンションの重要性」の説明 & LP教育制度委員会のテキスト作成の進捗報告がありました。

4月15日（水）は話題の高性能半導体カーボンナノチューブを用いた塗布型RFIDについて、東レ株式会社 電子情報材料研究所 主任研究員村瀬清一郎先生（工学博士）より学びました。会員限定資料は会員ページのd_26に格納しました。

工業会 日本万引防止システム協会 総務委員会

新型コロナウイルスからお客様と従業員を守るためにすべきこと

日頃より万引防止システムをご利用いただきありがとうございます。

この新型コロナウイルス禍で、不安のあまり、「みんな休めばいい」と発言する人がいます。生活に必要なものを供給している卸小売業に1000万人、運輸業に300万人、勿論、それを生産、製造している人も数百万人はいるはず。医療や介護に携わっている人は700万人、警察、消防を含む公務員も300万人。こんな人たちに支えられて私たちは生活しています。一人一人が自分に何ができるか考え、小さな事でもいいからその役割を果たしたいと思います。

日々の生活に欠かすことのできない食品や生活雑貨を多くの人々に供給・販売しているスーパーマーケットなどの地域の店舗は、この非常事態においては人々の生活にとってなくてはならない機能を果たし続けなくてはなりません。最前線で尽力されている皆様に感謝の念を込め、米国カリフォルニア州のスーパーマーケット業界団体（California Grocers Association）から発せられた、お客様向けの「スーパーマーケットでの買物の心得」というメッセージをリメイクしてご紹介します。

>> スーパーマーケットでの買物の心得 <<

大前提

人が多いこともあるので、マスク着用は必須です。せきが出る、熱っぽいなど体調不良時は買い物に行かないでください。買い物に出かける時と、帰宅したときは手指の消毒や手洗いを念入りにしてください。

- その1 買い物の回数を減らすため、日持ちする食材や食品を選ぶ。
(買い過ぎにも注意。基本、1週間分、それより少し多めを目安に。)
- その2 買物で持参するバッグ及び買い物時に貰ったバッグは、使用後に洗濯をするか、または帰宅後にすぐには使わず3日以降に再利用する。
(ウイルスはプラスチックに付着しても2-3日は生存する。)
- その3 店舗の混雑を防ぐことに協力を。
(買物は1家族1人で来店して。)
- その4 店内では、ほかのお客様と安全な距離をあけて。
(他のお客様とは最低1メートル、できれば2メートル離れる。)
- その5 不必要にすべての商品に触れないで。
(購入しようと思う商品だけをまず目で見てから手に取るように。)
- その6 レジで並ぶ時も、前後に近づきすぎない。
(レジでの支払いを待つときも店内ルールに従い安全な距離をあけて並んで。)
- その7 従業員には優しく。
(従業員は一生懸命働き、安全対策に注力している。欠品は彼らの責任ではない。)
- その8 店舗によっては特別の時間や決め事があるかを確認する。
(お年寄りなどのために、専用の時間や優先的な配慮を設けている店もあり。ネットで事前に確認して。)
- その9 店舗によっては、混雑で人数を制限しているので、時間に余裕を持って。
(近所のスーパーが混雑しているなら、運動不足解消のため、家から歩いてやや離れた場所に買い物に行くのも良い。)
- その10 お釣りを貰わないキャッシュレスがお勧め。
(お金は多くの方が触れるのでウイルスが付着している可能性があるため。)

お客様にお願いするだけでなく、もちろん小売業の店舗では、様々な対策をとらなくてはなりません。すでに一部の店舗のレジでは、お客様とレジ従業員の間に、透明のシールド（ビニールなど）を設置しています。（米国では、アクリルボードを取り付けるところも。）

また、チラシをやめてお客様が一時期に集中しないようにしたり、（マスクや消毒用アルコールなどを手に入れるためなど）開店前にお客様が並ぶような、販売方法を変えるなどもされています。商品の試食などは、すでにほとんど売場から姿を消しているはずですが、再チェックが必要です。

化粧品の特売による感染リスクが考えられます。一部の店舗では撤去していますが、まだまだそのままの売場も多くありました。（4月13日時点で）ショッピングカートや買物かご、レジ周り、サッカー台などの頻繁な清掃消毒なども必要です。

監修：医学博士・健康アドバイザー福田千晶医師、推薦：一般財団法人日本ヘルスケア協会）

作成協力：エイジスリテイルサポート研究所株式会社（ARI）

4月30日（木）20：00～21：30に JEAS メンバー向けに Web カフェを開店しました。

目的：人間賛歌（挫折しても歩き続けるぞ！）

本音で話すことで、生命力アップ！

ルール：仕事関係の話は聞き流す。

家族のことを優先する。

ダジャレを楽しむ。

例：稲作伝来は、最初の農耕（濃厚）接触！

5月15日（金）には LP を学ぶ会メンバー向けに LP カフェを開店しました。気づくと TV 会議が慣れっこになりました。



「海外から来られた新たな仲間」（vol. 1）

6月11日

最初はどうなるかと思った「業界で活躍する女性の紹介」は、現在までに10人の方々をご紹介いたしました。そして、今回新たに「海外から来られた新たな仲間」を開始します。まだまだ日本社会は多様性に関し、寛容でない部分が散見されます。それを改善するための企画ではありますが、新たな仲間たちが不利益を被らないように、また、本音でお話しいただけるように匿名としました。

いつの日か「あれは私だったんですよ（笑顔）」で言っていただけの業界、ひいては日本社会になってほしいと切に願っております。



〈日本に来るきっかけ〉

中国で外国語大学の日本語専攻に入学し、日本語、日本文化を学んだ。当時、多くの日本ドラマが流れていて、GTO、東京ラブストーリーなど、よく日本語が耳に入っていた。

しかし、意味は全く分からず悔しかった。大学入学時の日本に対する印象は、マスコミと本とドラマだけであつた。このため、いつか自分の目で確認したいとの強い思いがあり、両親と相談し、日本への留学を決意したことが日本に来るきっかけである。

〈日本に来てよかったこと〉

「真面目」、「匠精神」

大学生の頃に、ラーメンにはまった時期があつた。留学先の市内のラーメン屋さんをほぼ回っていた。鶏ガラ、豚骨醤油、みそ、塩、太麺、細麺、固め…、どの味にしても、どの組合せにしても美味しくてたまらなかった。

なぜそんなに美味しいのかと思い、気になったラーメン屋さんでアルバイトを始めた。

店長さんが真面目な性格で、食材の選定、タレの使用量、火加減などすべてマニュアルとして綺麗に記録していた。

麺をゆでる時間のこだわりはもちろん、さらに、出来上がった麺をお客様まで運ぶ時間まで追求していた。

匠のクオリティのままでお客様に提供し、味わってもらうためだった。

大学院を卒業するまで、その店で6年間アルバイトしていた。店長さんから沢山のアドバイスをいただき、今の仕事にも生かしている。製品開発には特にこの匠精神が必要であり、そして良いものをよい時間でお客様へ提供できるのは「納期を守る」ということだと考えている。

〈日本でがっかりしたこと〉

やる気のある若者が減っている

豊かな生活を送られているため、遠い将来までを心配している人が減っているのが原因だと思う。新入社員の中にも物事に対する好奇心を持っている人が少ない印象がある。やらされるのではなく、自ら進んで行うのができたらよいと思う。

〈趣味や生きがい〉

会社に入った際の上司からの勧めで、ゴルフを始めた。それ以来、すっかりゴルフにハマリ、練習場での練習も習慣になった。

最少スコア目標を達成するために、リスク（天候、地面、罟など）を考え、クラブを選定し、構え方（アドレス）、そしてメンタル強く、自信を持って実行すると一連のプロセスは、まさに人生の縮図であると感じている。

〈私の夢〉

大学生の頃、県の中国留学生学友会会長を務めた経験があり、当時の気持ちを今も同じく持っている。

私の住んでいる県ははじめ両国の各界の人々が中国との交流の伝統を受け継ぎ、発揚し、中日協力事業を一段と推し進め、中日の平和共存、代々の友好の実現に積極的に貢献できるよう心から希望している。

〈日本人へのアドバイス〉

曖昧な表現をやめよう！

特に会議の時、長時間議論したにもかかわらず、あれ？この案は実行するのか？しないのか？というような結論に至らないまま終わってしまうことがしばしばある。

「やめたほうがいいんじゃないの？」や、「私に聞いても…」などのような曖昧に表現するのが本当に効率の悪いことだと思う。会議だからこそ、自分の意見をはっきり言ってほしい。

〈これから日本で仕事をする海外の方へのアドバイス〉

中国のことわざに「入郷随俗」、日本では、郷に入れば郷に従えという言葉があります。

例えば、「安全確認」、作業場でも指差し確認を要求され、面倒だ、意味ないだと思える人もいるかもしれないが、それは、自分の命、他人の命、そして会社に関わる大切なことである。要するに、この国で生活する上に、自分のことだけではなく、他人に迷惑をかける行為だと認識してもらいたい。

「海外から来られた新たな仲間」

万引防止システムの業界には、海外から来日された方々、帰化された方々がいらっしゃいます。互いの相互理解を深めることで、温かな人間関係作り、生産性向上、その先にある社会の持続的再生産に貢献したいと思います。万引対策等の防犯活動の現場または支援活動の中で活躍されている海外から来られた新たな仲間を紹介いただきたく、お願い致します。

工業会 日本万引防止システム協会 総務委員会

「ロス対策テキスト」「ロス対策士資格試験制度」のご紹介

6月16日

6月16日（火）関連団体の全国万引犯罪防止機構の通常総会で『「ロス対策テキスト」「ロス対策士資格試験制度」のご紹介』がありました。この制度立案には小売業やJEASなどから、志ある人々が参画されています。会員ページのf_5にデータがあります。

関連情報：全国万引犯罪防止機構サイトより

□万引防止研修用 DVD を期間限定で緊急無料公開中

<https://www.manboukikou.jp/2020/06/01/851/>

□コロナ時代を共に生きる LP 担当者向けの応援歌

<https://www.manboukikou.jp/2020/05/21/826/>



サーモグラフィーシステム普及推進プロジェクト始動

6月19日

6月19日（金）YOTSUYA TOWER 7階会議室でサーモグラフィーシステム普及推進プロジェクト（略称：サーモPJ）第1回が開催されました。当日は関係者18名（TV 会議を含む）で、サーモカメラ創成期の方々の苦勞に思いを馳せ、以下の点について議論を重ねました。今後、用語の整理などを行い、サーモカメラの安全な普及活動に役立つ冊子作りを行います。

サーモカメラの注意点（一例）：

- 被写体のウイルス感染を判断する目的の機器では無い。
- 測定表示温度は『表面温度』であり、体温計で測定される実際の体温とは異なる。又測定前後の環境により変動する。
- 表面温度を測定するため、眼鏡やマスクや頭髮などで、頭部を覆ってしまうと正しく温度が測定できない場合がある。
- 測定表面温度は計測距離に影響を受ける。
- 顔認証の履歴と組み合わせることで個人の体温特性に応じた対応が可能になるが、個人情報としての管理が必須となる。

参考図書



※入室前にアルコール消毒を行い。進行中は換気を行い、全員マスク着用で行いました。

事務所移転のご連絡

5月26日

当工業会はこのたび下記の通り移転し業務を開始いたしました。

所在地：〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 7階

電話：03-3355-2322 ファックス：03-3355-2344

E-mail：infonew@jeas.gr.jp ホームページ：http://www.jeas.gr.jp/

フェイスブック：https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/



工業会 日本万引防止システム協会のご案内

工業会 日本万引防止システム協会は、EAS 機器等の万引防止システムを製造・販売する企業の業界団体であり、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止という産業的・社会的役割を果たすべく、行政機関、関連業界団体とともに連携をとり活動しています。

■目的

本会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために、万引防止システムの円滑な普及・発展に資する制度・政策・計画等の建議と実行、行政機関・関連業界団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整、万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とする。

■会員の種別

(1) 正会員

本会の目的に賛同して入会した次の企業および団体とする

- 万引防止システム製造ないし販売している企業および団体
- 今後、万引防止システムを販売ないし提供しようとする企業および団体
- 万引防止に関連するサービスを提供する業界（警備業等）や関連業界（防犯カメラ設備等）に属する企業など
- 万引防止システムを販売ないし提供する企業に対し商品や部品の供給事業を行う企業および団体

(2) 賛助会員

本会の事業を賛助するために入会した次の企業および団体とする

- 小売業に商品供給しているメーカーおよび 物流企業
- 小売業にサービスを供給している企業および団体

(3) 特別会員

本会の目的に賛同し、協力をする団体会員

■会費（2019年6月6日改訂）

	年間売上金額	年間の会費 万円
正会員 ①	40億円以上	33
②	20億円以上、40億円未満	28
③	10億円以上、20億円未満	22
④	5億円以上、10億円未満	17
⑤	3億円以上、5億円未満	13
⑥	1億円以上、3億円未満	11
⑦	1億円未満	9
賛助会員		4
特別会員		無料

基本は内部不正対策などを含むロス対策に関わるシステム販売の年間国内売上に応じた年間の会費とする。

■入会条件、入会申し込みはこちらのサイトをご確認ください。

<http://www.jeas.gr.jp/intro06.html>

新規入会企業および団体を募っています。

- ◎万引防止システムを製造ないし販売している企業の皆様
- ◎万引防止対策を担当している警備業や防犯カメラ設備に属する企業の皆様



令和2年度(2020年度)工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧

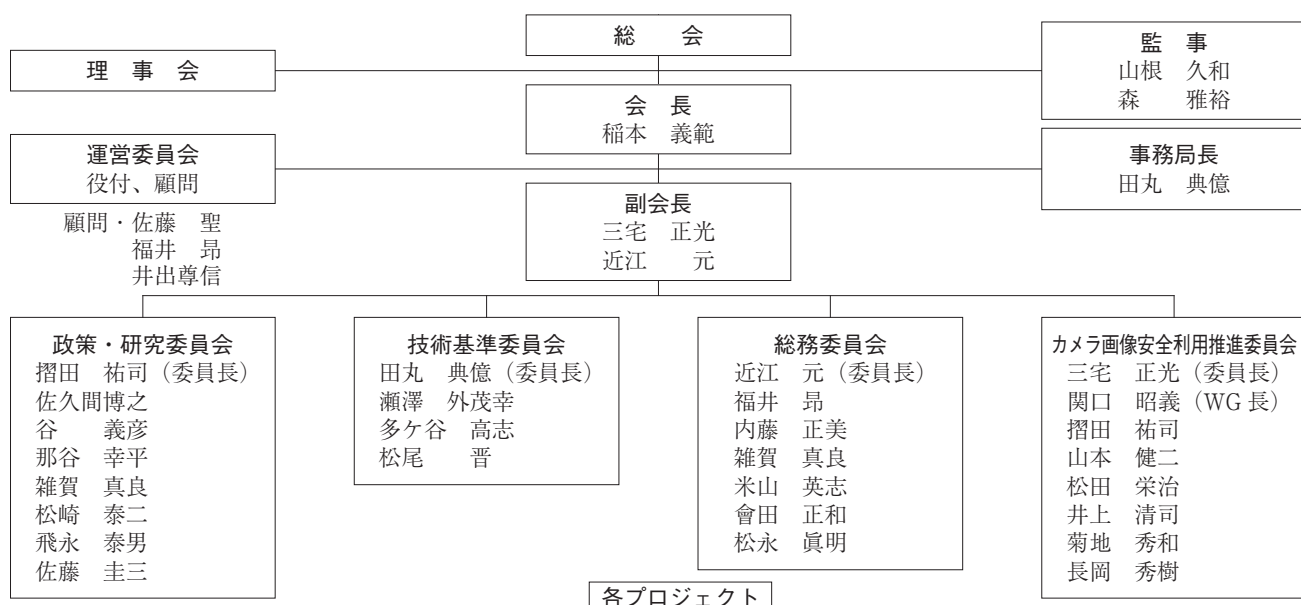
No.	工業会役職	社名・団体名	役職名	氏名
1	会長	高千穂交易（株）	事業開発室上席コンサルタント	稲本義範
2	副会長（カメラ画像安全利用推進委員長）	（株）三宅	代表取締役社長	三宅正光
3	副会長（総務委員長）	NPO 法人 全国万引犯罪防止機構	理事 LP 教育制度作成委員長	近江 元
4	理事（政策・研究委員会）	IDEC ファクトリーソリューションズ(株)	EAS 営業部 部長	谷 義彦
5	理事（政策・研究委員会）	キャトルプラン（株）	代表取締役社長	佐藤圭三
6	理事（政策・研究委員会）	（株）セキュリティデザイン	資材購買部長	那谷幸平
7	理事（政策・研究委員会）	（株）店舗プランニング	代表取締役	飛永泰男
8	理事（政策・研究委員長）	日本電気（株）	関東甲信越支社 産業第二営業部	摺田祐司
9	理事（政策・研究委員会）	ビブリオテカ・ジャパン（株）	営業部部長	松崎泰二（新任）
10	理事・顧問（総務委員会）	マイティキューブ（株）	顧問	福井 昂
11	理事（総務委員会）	チェスコムアドバンス（株）	常務取締役	内藤正美
12	理事（総務委員会）	（株）オカムラ	商環境事業本部	雑賀真良
13	理事（総務委員会）	（株）エイジス	新規事業推進室長	米山英志
14	理事（事務局長、技術基準委員長）	タカヤ（株）	事業開発本部 R F 事業部 営業部 S S 担当マネージャー	田丸典億
15	理事（カメラ画像安全利用推進委員会）	グローリー（株）	国内事業本部 販売企画統括部 生体・画像認識販売 企画一部 販売企画グループ グループマネージャー	山本健二
16	理事（カメラ画像安全利用推進委員会）	アクシスコミュニケーションズ（株）	事業開発部リテールディベロップメントマ ネージャー	松田栄治
17	監事	Matsuo Sangyo（株）	執行役員統括部長	森 雅裕（新任）
18	監事	セフト HD（株）	代表取締役社長	山根久和

敬称略・順不同

顧 問

佐藤 聖（一財）流通システム開発センター 元調査部長、福井 昂 マイティキューブ（株）
井出尊信 高千穂交易（株）代表取締役社長

令和2年度(2020年度)工業会 日本万引防止システム協会組織図



会 員 名 簿

【正会員】

企業・団体名

アイアンドティテック(株)
IDEC ファクトリーソリューションズ(株)
アクシスコミュニケーションズ(株)
アドセック(株)
(株)エイジス
NECソリューションイノベータ(株)
エム・ケー・パビック(株)
(株)オカムラ
(株)キャトルプラン
グローリー(株)
(株)ゴジョウ・ウェイズ
(株)KSM
KDDI(株)
サクサ(株)
(株)セキュリティデザイン
CIA フィールディング(株)

企業・団体名

(株)GeoVision
シグマ(株)
セコム(株)
浙江 カン電子会社
セフトHD(株)
高千穂交易(株)
タカヤ(株)
チェスコムアドバンス(株)
チェックポイントジャパン(株)
(株)店舗プランニング
日本電気(株)
パナソニックシステムソリューションズ
ジャパン(株)
ビブリオテカ・ジャパン(株)
マイティキューブ(株)
Matsuo Sangyo (株)
(株)三宅

正会員数 32社

【賛助会員】

企業・団体名

沖電気工業(株)
(株)自己啓発協会
西武産業(株)
(株)日本保安
(株)ロケット
(株)JSS

【特別会員】

企業・団体名

公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
一般社団法人 全国警備業協会
NPO 法人 全国万引犯罪防止機構
タグ&パック事務局

※50音順（2020年3月31日現在）

工業会 日本万引防止システム協会 会報 第33号

発行日：2020年7月3日 発行人：稲本義範
発行：日本万引防止システム協会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1
YOTSUYA TOWER 7階
TEL：03-3355-2322 FAX：03-3355-2344
<https://www.jeas.gr.jp/>
<https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/>
法人番号：9700150096387

ご相談窓口について

工業会 日本万引防止システム協会では、万引防止システム全般に関するご相談の窓口を開設しております。

ご相談窓口では、皆様からの EAS 機器等の万引防止システムに関するご質問、ご相談、苦情などをお受けしております。ご連絡先は、左記の工業会日本万引防止システム協会事務局宛となります。